

# 4月号

# School Aid Japan

スクール・エイド・ジャパン



## Dream通信

2011. 04. No.37

### 春季SAJ (スクール・エイド・ジャパン) 教育支援視察ツアー ～お客様から学ぶこと～



総勢8名の方が来園してくださいました！

皆さんこんにちは。日本は今地震や原発の問題で大変な状況だと思えます。皆さんご無事でお過ごしてでしょうか？子どもたちもみんな「私のパパやママは大丈夫なの？」と心配して尋ねに来ます。あまり情報の少ないカンボジアでもラジオから日本のニュースが流れ、子どもたちは悲しげな顔で聞き入っています。スタッフ、子どもたち含め、皆さんの無事を心から祈っています。

今回のDream通信では、年2回行われるSAJ (スクール・エイド・ジャパン) の教育支援ツアーで来園されたお客様とのふれあいの様子をお伝えします。

#### 中学校贈呈式

3月15日、園の中学生の子どもたちが通うアッロンクナウノット中学校で、新しい校舎の贈呈式に参加しました。贈呈式にはツアーのお客様と、園の子どもたち全員が参加しました。今回学校を寄贈して下さった、故・石井千久様のご家族が、壇上にて子どもたちにお話をしてくださいました。「若くして命を落としてしまった千久さんの分も、皆頑張って勉強して、夢を叶えて欲しい、そして子どもたちみんなが元気に学校に通って大きくなって欲しい」と話され、子どもたちは真剣な表情で聞いていました。



新しい校舎の前で、頑張って勉強することを約束。

#### 伝統舞踊披露

贈呈式では園の子どもたちが早朝からお化粧と衣装の準備をし、伝統舞踊を披露しました。毎週日曜日に園では3時間の伝統舞踊の練習を行っており、自分達でも驚くほど美しく踊ることができました。お客様や園の他の子どもたち、学校の生徒やその家族、という大勢の観衆の皆さんが、静かにじっと踊りに見入っていました。子どもたちは皆、みるみる踊りが上手になっています。是非次回は里親様にも子どもたちの踊りを見ていただき、子どもたちの成長を感じて欲しいと思います。



お客様の前で伝統舞踊を披露



お客様も一緒に大縄跳び。

## 運動会開催！

贈呈式が終わり、園に戻ってお客様と一緒に昼食を食べました。その後、ポーサットの公園に全員で遠足に行きました。何週間も前から、子どもたちはこの遠足を楽しみにしていました。普段園で遊ぶのとは違い、大きな公園で広々と遊ぶことができるので、時間をフルに使ってお客様と一緒に運動会を実施することにしました。種目は大縄跳び、綱引き、ドッチボール、玉入れの4種目です。大きい子どもがチームのリーダーになり、小さな子どもを誘導します。子どもたち皆がお互いに協力し合い、応援し合い、全てのチームが奮闘し合っていました。最後は勝っても負けても皆笑顔で、お客様と共に一緒に汗を流し、とても楽しい一時となりました。



日本語学科の授業を熱心に見学

## 大学見学

翌日16日には、中学生以上の子ども25名がスタッフと共にカンボジアの首都プノンペンへ大学見学に行きました。子どもたちは皆それぞれが将来の夢を持っていますが、実際にその夢を叶えるためにどのような過程が必要なのかを知りません。そして、園のあるポーサット州クラコー郡では知る機会もほとんどありません。ここでは、ほぼ全ての方が第1次産業を糧に生活をしています。実際にプノンペンで働いている人や勉強している人の話を子どもたちに聴かせ、子どもたちが夢を現実に考えられるようにしたいと思い、今回の見学を行いました。子どもたちは国立プノンペン総合大学日本語学科、国立プノンペン医科大学、農業大学、自動車整備学校を回り、授業を見学したり先生の説明を聴いたりして逐一メモを取っていました。園に戻るバスの中で感想を聞くと、子どもたちはそれぞれに大学に行きたい！と目を輝かせて言っていました。実際の現場を見学して、自分が今何をしなければならないのかを考える機会となり、今回の見学はとても良い経験になったようです。子どもたちが必ず夢を叶えられるように、私達は精一杯支えていこうと思います。



自動車整備学校を見学する子どもたち

## 日本の皆様へ

今回の東日本大震災では日本人スタッフを始め、子どもたちも皆日本の支援者様や里親様のことを心配しています。テレビの無い園では実際の日本の状況を子どもたちに伝えるのは難しく、口頭で伝えるしかありませんが、被害者の数に子どもたちも驚いています。そんな中でも日本の皆様に元気を出して欲しいと思い、子どもたち皆で寄せ書きを作りました。日本の皆様が今の状況を乗り越えていけますように。「夢追う子どもたちの家」全員が皆様を心から応援しています！



NIPPON がんばれ！